

凡例集

①		一時集合場所	災害時の危険を回避するためにまず集合する、自宅や職場等の近くの公園・広場・空き地等の広くて安全な場所。あらかじめ自主防災会で決めておく場所
②		緊急時の一時避難所	主に一時集合場所内で、緊急時に風雨から避難者を一時的に建物内に収容する施設を指定する。あらかじめ自主防災会で指定する
③		避難場所及び広域避難場所	一時集合場所に避難した住民が、災害から逃れるために更に移動するための、より安全で広い場所。市では主に学校や公園等を指定している。広域避難場所とは仮設住宅等が建設可能な場所
④		避難所	大規模な災害発生時の住宅被災者に対して一時的な居場所としての環境を整備した施設。
⑤		福祉避難所	災害時要援護者専用の福祉避難所。
⑥		介護施設	災害時には入所者等の安全確保に協力してください。
⑦		安茂里総合市民センター	災害時には、災害対策活動の拠点となる施設。
⑧		安茂里交番	災害時には、警備活動の拠点となる。
⑨		消防安茂里分署	災害時には、消防・救急・救助活動の拠点となる。
⑩		病院	災害時には、重傷者への医療が優先される場合がある。
⑪		保育園	災害時には、園児等の安全確保に協力してください。
⑫		防災備蓄倉庫	災害の発生により食料などの生活必需物資の供給が途絶えて、その供給が再開するまでの間、被災者に提供する保存食料など備蓄をするための施設。
⑬		地上式消火栓	消火活動に使用する。大きな地震が発生した場合には、使用できなくなることがある。
⑭		地下式消火栓	地下式では積雪時消火栓が埋まってしまい、発見が遅くなると、フタの周りが凍ってしまうなどの障害が多いため、積雪時では地上式消火栓を採用しているところが多いようです。
⑮		防火水槽	大きな地震が発生した場合には、重要な消防用水となります。
⑯		初期消火用具	初期消火には、消火器や簡易消火具が有効です。
⑰		消防団詰所	非常備の消防機関である消防団の待機場所。
⑱		消防団器具置場	消防車、小型可搬式ポンプ、ジャッキなどの消火、救出活動等に必要となる資機材を保管するための施設。
⑲		警鐘楼	火災・洪水などの、警戒を促すために鳴らす鐘が設置された塔。「火の見やぐら」
⑳		防災無線スピーカー	災害時に、緊急情報（警戒や避難の呼びかけ等）が放送される。
㉑		樋門	川からの逆流を防ぎ、堤防を保護する施設である。

土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域(土石流・げけ崩れ)

	土砂災害警戒区域	土砂災害のおそれがある区域(イエローゾーン)
	土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生ずる恐れがある区域(レッドゾーン)

浸水想定区域の色の見方

	浸水が0.5m未満の区域
	浸水が0.5m~1.0m未満の区域
	浸水が1.0m~2.0m未満の区域
	浸水が2.0m~5.0m未満の区域

